



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第46巻第
11号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第46巻第11号). 泌尿器科紀要 2000, 46(11): 868-868

ISSUE DATE:

2000-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114390>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編集後記

顧問をしているメディカ出版の Urological Nursing から、2001年度は「ナースに読ませたい50冊」を毎月書いてほしいとの依頼をうけた。毎月となるとかなり負担になるが、ナースに限らず医師を含めて『新世紀のヘルスケアを担う若い人々』へのメッセージになればと思い引き受けた。

第一回目のテーマは『死を想い生を考えるために』とした。

「何のために死について考えるのか。よりよく生きるためにです。死を研究するということは、生きることの重要性を研究することであり、死について考えることは、生を楽しむ、感謝して生きるためであり、大きな真理を掴むためです。そのヒントを与えてくれると思った5冊を選びました」との添え書きをつけて、1)「葉っぱのフレディ ―いのちの旅―」レオ バスカーリア著 童話屋出版、2)「人生は廻る輪のように」E. キュプラー ロス著 角川書店、3)「『死の医学』への日記」柳田邦男著 新潮社、4)「医と生命のいしずえ」日野原重明著 同文書院、5)「シシリー ソンダース」シャーリー ドゥブレイ著 日本看護協会出版会 を選び解説した。

若い医療者は、多忙で専門書以外に本を読む暇などないかもしれないが、その気になれば読書の時間はつくれるものである。寝る前に30分でもいいから、これから選ぶ本の中の何冊かを読んでほしいと思うが、毎月メ切がせまると呻吟することになるであろう。

(吉田 修)